

努力事項解説 その2 (小学校特別活動)

活動内容 (1)「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開するために課題とされていることについて、どのようにしていけばいいか考えています。

十分展開するために、次の課題を解決していきましょう!

5 当番活動と係活動の違いを踏まえて指導していますか?

当番活動は、「学級の生活を維持するため、教師が意図的、計画的に指導する内容」です。

当番活動は、活動内容 (2) の共通事項

エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

にかかわる内容で、学習指導要領解説には、次のように書かれています。

日々の学級や学校の生活を維持するため、児童に清掃をはじめ当番活動に取り組ませている学校が多い。その際、与えられた役割を果たすというだけの消極的な活動ではなく、当番活動の役割や働くことの意義などが十分に理解できるようにするとともに、学級や学校に貢献していることが実感できるように指導することが大切である。

これらの指導は、学級活動の授業時数を充てない朝や帰りの時間、児童が当番活動を行っている時間などに行うことが中心となるが、学級活動においても適切に取り上げ、計画的に指導する必要がある。その際、清掃のほかにも、給食、日直、飼育、栽培などの当番活動や学校内外でのボランティア活動などの活動を具体的に取り上げた多様な指導方法を工夫することが大切である。

なお、低学年から所属する集団やみんなのために一生懸命働く経験を重視し、日常の積み重ねを通してキャリア教育の一環として働くことの大切さや意義を理解させていくことは、児童会活動における学校に寄与する活動などの充実につながるとともに、望ましい勤労観・職業観を育て、公共の精神を養い、社会性の育成を図ることもつながる。また、道徳教育や学校行事の勤労生産・奉仕的行事、総合的な学習の時間などで行うボランティア体験などに関連させて指導することも大切なことである。

係活動は、「学級生活を豊かにするために、自分たちで話し合って係の組織を作り、活動する内容」です。

係活動は、活動内容 (1) の共通事項

イ 学級内の組織作りや仕事の分担処理

にかかわる内容で、学習指導要領解説には、次のように書かれています。

学級や学校での生活を充実、向上させるために、必要とされる学級内の組織作りや仕事の分担などを、児童自身が見だし、協力していこうとする活動である。例えば、学級会などの話し合い活動が円滑に行われるための計画や準備等を行う計画委員会、学級生活を豊かにする係活動等の組織作りや運営に関する内容が考えられる。これらの組織が機能し、活発な活動が展開されることにより、学級生活の充実と向上を図ることができるのである。

特に、係活動は、学級の児童が学級内の仕事を分担処理するために、自分たちで話し合って係の組織を作り、全員でいくつかの係に分かれて自主的に行う活動であり、児童の力で学級生活を豊かにすることをねらいとしている。したがって、設置する係の種類や数は、学年や学級によって異なるので、児童が十分に創意工夫して計画し活動できるよう適切に指導することが望まれる。

比べてみよう! 「当番活動」と「係活動」

	「当番活動」は?	「係活動」は?
ねらいはなんですか?	日々の学級や学校の生活を維持すること	児童の力で学級生活を豊かにすること
内容の区分は?	活動内容 (2) 自主的、実践的な活動	活動内容 (1) 自発的、自治的な活動
当番や係の種類をどうやって決めるのですか?	目標を踏まえて先生が決めます。 自主的、実践的な内容だからです。「日直」、「清掃当番」、「給食当番」、「栽培当番」など、なければならない学級経営の補助的な内容です。	児童が話し合って決めます。 自発的、自治的な内容だからです。(その係が) なくて困るというものではないけれど、学級生活を豊かにする、児童の豊かでユニークな発想に基づく係を設け、自発的、自治的な活動を行うことが求められている内容です。
望ましい活動にするにはどのようなことに気を付けなければいいですか?	学校や学年の方針、及び学級の計画に従い、児童会活動と連携させたりして、下記に配慮して活動させましょう。 ① 当番活動の役割や働くことの意義などをしっかり理解させましょう。 ② 学級や学校に貢献していることが実感できるようにしましょう。 ③ みんなのために毎日一生懸命働く経験を通して、キャリア教育の一環として働くことの大切さや意義を理解させていきましょう。 ④ 望ましい勤労観・職業観を育て、公共の精神を養い、社会性の育成を図っていきましょう。	係活動のねらいが達成できるようにしていきましょう。 具体的には ① 自発的、自治的活動であることを踏まえて、児童が話し合って決めたことを尊重して指導に当たしましょう。 ② 係の人数を制限せず、児童の希望を尊重しましょう。ひとつの係に多くの希望があったときは、運営を工夫させましょう。ただ、ひとりだけの係は望ましくありません。複数以上で活動させるようにしましょう。 ③ 児童会の下部組織ではないので児童会の組織と関連づけないようにしましょう。係活動は学級独自です。 ④ 活動に必要な、「お知らせ等を掲示するスペース」、「掲示物をつくるための材料や道具等」を、児童がいつでも自由に使えるように準備しておきましょう



次回は、6の「議題を子どもたちが決めていますか？」について考えていきます。

7月19日（金）頃アップの予定です。